

# JLIA 主催 一般社団法人日本皮革産業連合会

日本の革企業 サステナビリティ認証／日本エコレザー認定

## “日本のいい革”ロゴ応募 受賞作決定！ 全国レベルで盛り上がり975作品集まる

一般社団法人日本皮革産業連合会ではこの春、消費者の皆様へ良質で安全な革・革製品をお届けするために、下記のロゴ2種を公募しました。

### 「日本の革企業 サステナビリティ認証」ロゴ

革と革製品の全てのサプライチェーン(タンナー・製品メーカー・卸・小売業など)を対象に、サステナビリティの理念に基づいたSDGs活動を積極的に展開する企業を認証する新制度に使用するロゴです。

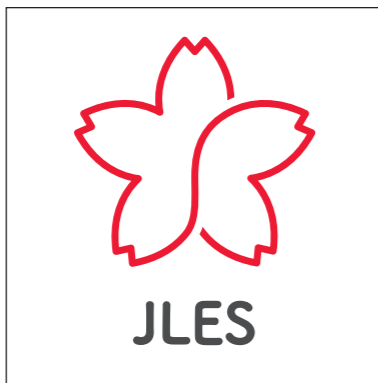
### 「日本エコレザー認定」ロゴ

当連合会では、2009年より人と環境に優しい、安全・安心な革・革製品を「日本エコレザー」として認定してきました。この度、認定制度の強化を図り一般消費者へのさらなる普及・浸透を目指して既存ロゴマークを一新します。

応募作品は「日本の革企業 サステナビリティ認証」ロゴに407作品、「日本エコレザー認定ロゴ」は568作品で、計975作品に及びました。連合会では、先ごろ厳正な審査を行ない、それぞれ最優秀作1点・優秀作3点を選出しました。最優秀作の2作品については、デザイン修正を加えてこれから商標登録し、国内企業や国内外に流通する革・革製品に付けるとともに、WEB、パンフレット・ポスター・広告などに掲載し、広く周知していきます。

## 「日本の革企業 サステナビリティ認証」ロゴ 受賞作

### 最優秀作



デザイン・文字に修正を加えて商標になります

はしもと ひろゆき  
**橋本 博之 様 (東京都)**

(作意) 桜とSustainabilityの“S”をモチーフにしたマークです。JLESはJapanese Leather Enterprise Sustainability。革問屋さんや革製品をつくる作家さんなど、用途に合わせてステッカー、タグ、刻印として使うことを想定しています。

### 最優秀作



デザイン・文字に修正を加えて商標になります

あんの ひろき  
**阿武 広希 様 (大阪府)**

(作意) Japan Eco Leatherの頭文字 J・E・L を一つのシンボルに表現。刻印やエンブレムのような堂々たる存在感を目指しました。クラフト感のあるフォントは安心感や信頼感があり、長期的に使用しても古びた印象を感じさせません。

### 優秀作



くらた こうへい  
**倉田 浩平 様 (大阪府)**

(作意) ロゴ全体をサステナビリティの「S」で表現。レザーの上品なブラウンをベースに、上部の多くの円で革製品やサプライチェーンとし、積極的な企業活動によって「S」がつけられます。



しまじり かずなり  
**島尻 一成 様 (沖縄県)**

(作意) 人が向き合っているフォルムは、サステナブルな取り組みをするサプライチェーンとお客様です。自然環境に配慮した高品質で安全性の高い革・革製品を提供しているイメージ。漢字の「革」という字が浮かび上がります。



しまだ たかし  
**島田 隆 様 (東京都)**

(作意) Sustainabilityの頭文字Sが全体の形で、中央の丸窓で日本を表現しました。中の双葉はEcoを、上下のアール(曲線)は革を裁断するラウンドナイフをイメージしました。

### 優秀作



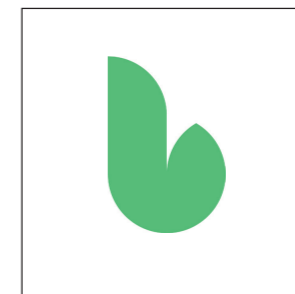
おおもり みき  
**大森 幹 様 (東京都)**

(作意) Japan Eco Leatherの頭文字「J」は革の一片。「J」のひねった部分はエコをイメージする葉です。革とエコが表裏一体となり、高いエコ意識を革に込めています。



とうこう ゆき  
**東郷 佑紀 様 (東京都)**

(作意) 「人の知性・環境配慮の心」と「レザーの文化」の2つが合わさることで“守られた自然”が浮かび上がるロゴです。色のグラデーションは優しさで進化する技術の先進性を表現しています。



よねや そうた  
**米谷 颯太 様 (神奈川県)**

(作意) LeatherのLをモチーフにしました。日の丸の形を入れ込み、エコを感じる色と形にしました。視認性の強いロゴを目指しました。

### ◎総評

#### 審査委員長 池田正晴氏

応募数は当初予想より非常に多かったと聞いていますが、全体にレベルが高く、また先進的な作品も多く、受賞作を選択するのが大変でした。

「サステナビリティ」最優秀作は日本を象徴する桜の花びらとサステナビリティの頭文字“S”を組み合わせたハイレベルなアイデア作。エレガントで上品な味わいが魅力です。「日本エコレザー」最優秀作もこれまたJapan Eco Leatherの頭文字をJ・E・Lの3文字をスッキリと組み合わせさせた快作。見方によって表情が変わるおもしろさがあります。皮革団体で今回のような大掛かりなロゴ募集はおそらく初めてでしょう。主催者の試みは見事に成功しました。

#### 審査員

##### 審査委員長 池田正晴氏

戦ジャルフック代表取締役  
1949年生まれ。義沢デザイン研究所卒。2009年(株)ジャルフック設立。シューズ&バッグのトレンド情報誌「JALFIC」発行。東京都/東京皮革産地振興協議会の委託によりビッグスキンの企画開発に長年取り組んでいる。講演多数。  
<http://www.jalfic.jp/>

##### 審査員 坂口昌章氏

南シナジープランニング代表取締役  
1957年東京生まれ。ファッションビジネスコンサルタントとして活躍中。著書に「ポストDCブランドのファッション産業」(日本経済新聞社)、「脱トレンド主義」(商業界)などがある。YouTube「坂口昌章」チャンネルにてファッションビジネスに関する動画を配信中。

##### 審査員 及川キータ氏

東京生まれ。東京芸術大学油画科卒業。平面作品を制作・発表するかわらわ、ファッションやビューティ、音楽などのテーマを中心に、イラストレーションをファッション誌、広告、各種媒体に掲載。スライドショー、ライブ・ペインティングなど多数。アーティストや、様々なブランドとコラボしている。事務所/RA.G (Reality Arts Graphic)。  
<http://www.keeda.com/>

##### 審査員 須藤千賀氏

2007年、武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科助手。2012年株式会社を法人化し、グラフィックデザインを中心にアートディレクションおよびデザイン制作。バッグブランドの運営・デザイン。武蔵野美術大学造形学部非常勤講師、大正大学表現学部特別講師、和光ブランド認定推進委員会  
<http://heso-cha.com>